

2 目標 ～進路が目指す形～

進路指導は、生徒が卒業後の生活によりよく適応できるような能力を伸長するために、教師が組織的・継続的に指導・援助する過程であるとの観点に立って行なわれるものである。これにより、生徒自らがより適切な進路を選択し、豊かな社会生活や家庭生活を送ることができるように、生徒一人一人の能力・適性に即して指導することを目標とする。

一人ひとりが、社会の中で
自分の役割を果たしながら、
自分らしい生き方を実現
できるよう支援



1 学校教育目標

児童生徒の特性や教育的ニーズに応じた教育を行い、社会の変化にも対応しながら心豊かに生きる人間の育成をめざす。

2 小学部の目標

- ① 基本的な生活習慣を身に付け、健やかな心と丈夫な体をつくる。
- ② 学習や体験をとおして、学習意欲を高め、自ら行動する力を身に付ける。
- ③ 自分の役割を担う活動をとおして、将来働くことにつながる意欲をもつことができる。
- ④ 友達を意識して、楽しんで集団活動に参加する。



3 中学部の目標

- ① 日常生活に必要な力を身に付け、健康な心と体をつくる。
- ② 生活に即した学習や体験をとおして、自ら考え行動する力を身に付ける。
- ③ 働く喜びや働くことに関心をもち、社会参加への意欲を高める。
- ④ 集団生活をとおして、仲間と協力し、人と関わる力を広げる。



4 高等部の目標

- ① 生活に必要な技能や習慣を確立し、健康な心と体をつくる。
- ② 社会生活に必要な知識・技能や主体的に行動する力を身に付ける。
- ③ 勤労意欲を高め、主体的に社会参加と自立をめざす。
- ④ コミュニケーション能力を高め、他者と協力できる豊かな人間関係を築く。

